

大沢野地域 まちづくりと公共施設の 「これから」を考えるワークショップ

10月28日（日）に
開催しました第3回
ワークショップについて
お知らせします！

検討の進め方

富山市は、ワークショップをはじめ、広く地域の皆様からいただいた意見を反映させた、大沢野地域における公共施設の再編方針を定める「地域別実行計画」と、大沢野行政サービスセンターを核に、公共施設の再編を検討する「リーディングプロジェクト」を策定します。

第3回ワークショップでは、「公共施設の再編方針」と「リーディングプロジェクト」について話し合いました。



オープンハウス（パネル展示型説明会）のご案内

これまでのワークショップでの議論をふまえ、オープンハウスを開催します！

- オープンハウスとは、ワークショップでの議論などについてパネルで展示して、市の担当者が内容をご説明し、広く大沢野地域の皆様からご意見をいただくものです。

オープンハウスを開催
しますので、お気軽に
お立ち寄り下さい！
メールなどでのご意見
もお待ちしております。

日時 場所	11月26日（月） 10時～16時 大沢野健康福祉センター（ウィンディ）
	11月30日（金） 10時～16時 大沢野行政サービスセンター

ご意見募集

- ワークショップで検討されている内容について
- 大沢野地域のまちづくりや公共施設について

下記の「お問い合わせ先」まで、メール・ファックス・郵便などにより、どうぞお気軽にお寄せ下さい。
差し支えなければ、ご住所、お名前、年齢、性別、連絡先の記載をお願いします。

(c)TOYAMA CITY/DLE



お問い合わせ先

富山市企画管理部行政管理課
公共施設マネジメント推進班
電 話：076-443-2021
ファックス：076-443-2170
E-mail：gyousei-01@city.toyama.lg.jp

公共施設マネジメントに関する情報

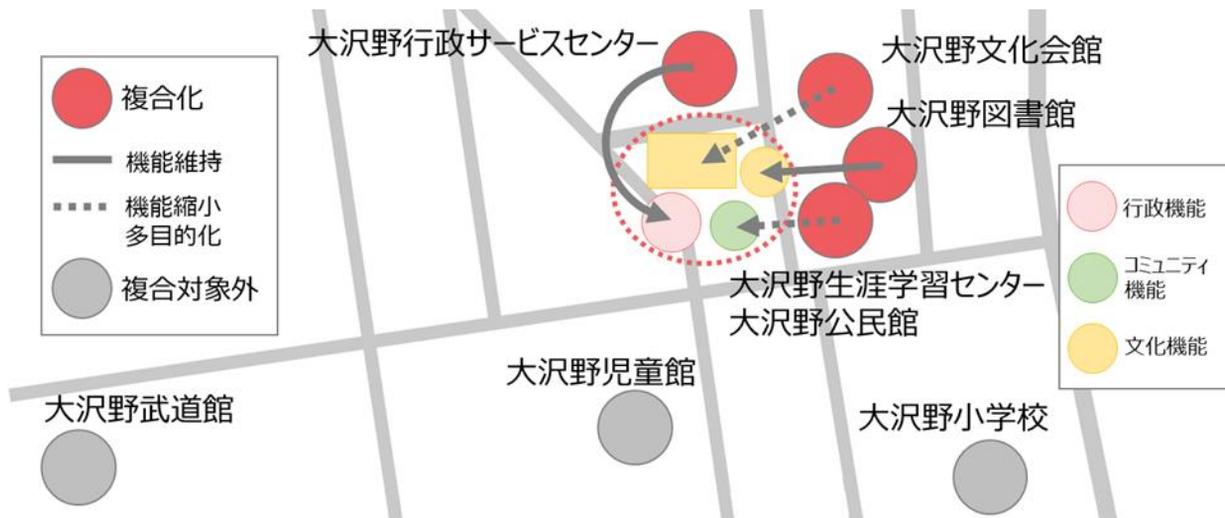
富山市の公共施設マネジメントに関する情報は
HPでご紹介しています。
<http://www.city.toyama.toyama.jp/kikakukanribu/gyoseikanrika/sougoukanrikeikaku/sougoukanrikeikaku.html>

リーディングプロジェクト（案）について

第3回ワークショップでは、第1・2回ワークショップで出された意見をもとに作成した4つの案について、追加すべきことや気になる点など、ご意見をいただきました。

A 文化拠点

- 行政機能・コミュニティ機能・文化機能を複合化。
- 行政サービスセンターと図書館は、機能を維持するが規模は縮小。充実したホールを確保。集会施設は最低限確保。

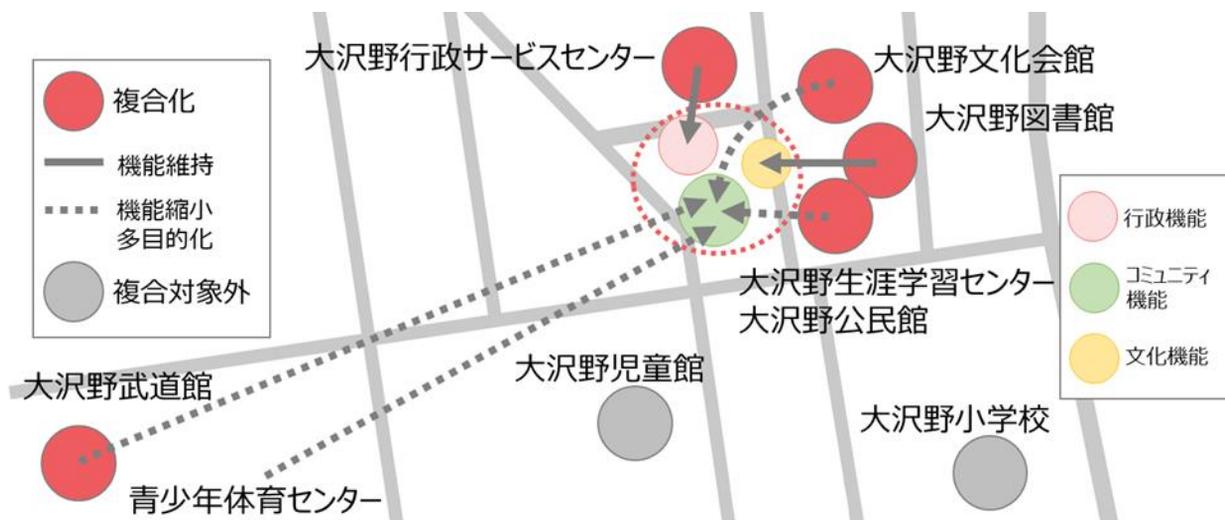


主なご意見

- コンサートができるようなホールが必要だろうか。固定席のホールにすると、使い勝手が悪くなる。地域の音楽会などのイベントは、多目的スペースでもよいと思う。
- 武道館を複合化しない場合は、学校の武道場を開放して活用することが可能だと思う。

B 多世代交流拠点

- 行政機能、コミュニティ機能、文化機能を複合化。
- 行政サービスセンターと図書館は、機能を維持するが規模は縮小。集会施設は集約し、スポーツもできる多目的スペースを確保。



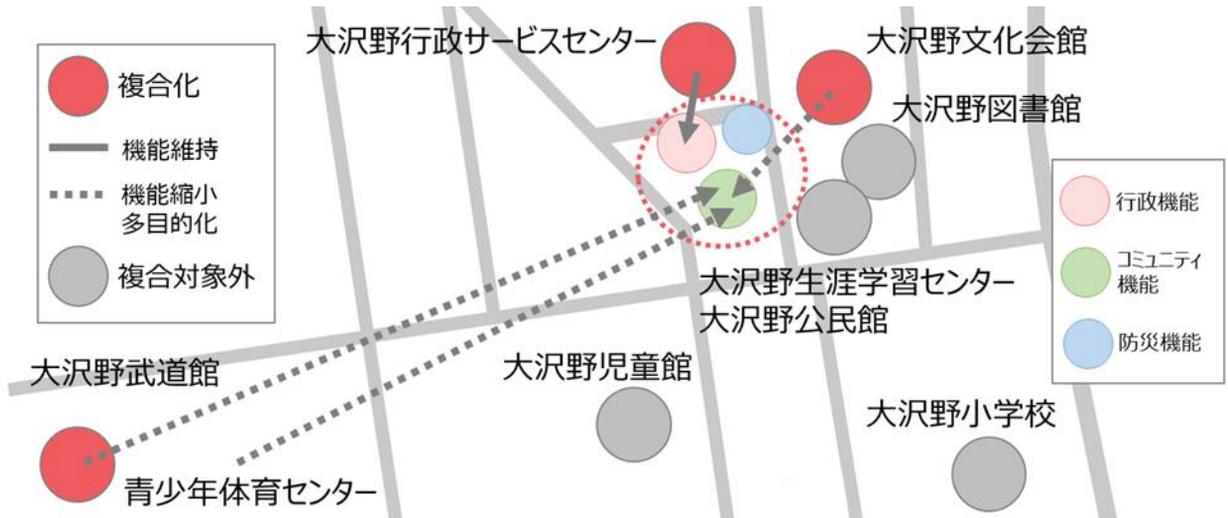
主なご意見

- 多目的スペースを、文化的な活動もスポーツもできる場所にする事で、利用団体が多くなり、予約が取りにくくなったり、使えなくなったりすると問題だ。
- 武道館を複合するのはよいが、畳がなくなると柔道ができなくなる。児童館も複合し、畳の多目的スペースをつかって、子ども達がくつろぐ場と柔道ができるスペースにしてはどうか。

C

防災拠点

- 行政機能、コミュニティ機能、防災機能を複合化。
- 行政サービスセンターは、機能を維持するが規模は縮小。災害時にも利用できる多目的スペースを確保。



主な
ご意見

- 避難場所としては学校があり、グラウンドにヘリコプターが降りることもできるので、避難場所になる広場を新しくつくる必要性を感じない。
- 複合施設と生涯学習センターの建物が別々になっているので、廊下でつないだ方がよい。

D

子育て支援拠点

- 行政機能、コミュニティ機能、文化機能、子育て支援機能を複合化。
- 行政サービスセンターと図書館は、機能を維持するが規模は縮小。児童館を複合化。集会施設は最低限確保。



主な
ご意見

- 将来的に子どもは減っていくので、児童館を新しくしなくても、学校の空き教室を使うことで対応できると思う。
- 児童館は新しいのでまだ使えるだろう。新たなものをつくるのではなく、今あるものを活用する方がよい。
- 子育てに悩んでいる親が相談できるような相談所を設けてほしい。

全案
共通の
主な
ご意見

- 生涯学習センターと図書館は、そのまま使うことを考えてはどうか。
- 椅子を運び、並べることは大変だ。固定席でなくてもよいが、引き出すタイプの椅子がよい。
- 子どもの数を考えると、今後は成人式を行う場合も200人規模で足りる。大きなスペースの確保を考えるよりも、飲食禁止などの制約をなるべくなくし、利用しやすいスペースにする方が重要だ。
- 多目的スペースは間仕切りを入れ、部屋を分けて利用できるようにすると使い勝手がよいのではないか。
- 行政サービスセンターに防災拠点の機能を持たせることは、どの案にも必ず入れるべきではないか。

公共施設の再編方針（案）について

第3回ワークショップでは、第1・2回ワークショップで出された意見をもとに作成した公共施設の再編方針（案）について、追加すべきことや気になる点など、ご意見をいただきました。

(1) 拠点となる施設等（案）（抜粋）	主なご意見
①地域の公共施設再編の基本的考え方 <ul style="list-style-type: none">地域北部の国道41号沿線に、集中的に配置し、利便性・機能性を高める。その他の地区は、必要な最低限の機能を残し、下夕北部、下夕南部地区は細入地域の公共施設の利用を図るなどを検討する。	<ul style="list-style-type: none">下夕の北部と南部は細入の公共施設の利用を図るというのは、住民の意見を十分に聞いて進めてほしい。バラバラに投資するよりも、良いものを1つつくるために投資を集中した方がよい。アクセスが確保されていれば問題ない。大沢野地域だけでなく、もっと広い範囲で考えたほうがよい。最低限の機能とは、どこまでの機能を指しているのか。
②優先的に取り組むべき施策 <ul style="list-style-type: none">行政サービスセンター、文化会館跡地のエリアで、老朽化した公共施設の建替えを契機に複合化を行う。文化拠点づくり、子育て機能の集中配置、多世代が集まることの出来る場の確保、防災機能の確保等をコンセプトとする。	<ul style="list-style-type: none">4つのコンセプトには大事な要素が入っていると思う。大久保地区の人口は増えているので、複合施設は、現在の予定地よりも北部にあったほうがよいと思う。一方、南部に多い高齢者は、車の運転ができない人も多いので、高齢者のアクセスを考えると、現在の予定地がよいと思う。

(2) 公共施設の再編方針（案）（抜粋）	主なご意見
①地域コミュニティの維持 <ul style="list-style-type: none">一定の人口に応じて、集会施設など、人の集まることのできる空間を地区ごとに確保する。	<ul style="list-style-type: none">これまで通りの活動ができるのであれば、重複する集会施設を整理統合するのは問題ない。
②地域の活性化 <ul style="list-style-type: none">複合施設にイベントや商業活動のできる場を整備することにより、地域を盛り上げていくことを目指す。	<ul style="list-style-type: none">地域内で生産した農作物を販売する場ができると、観光客に販売できるし、高齢者の生きがいづくりにもなる。空き家を活用することで笹津駅前の賑わいづくりができないか。
③文化の振興 <ul style="list-style-type: none">文化を伝承・発展する場としての機能を、地域の中心となる複合施設に整備する。生涯学習センター、公民館、図書館の機能を再編し、多様な方々が集まることのできる拠点づくりを目指す。	<ul style="list-style-type: none">武道などのスポーツ振興も重要と思うので、「文化とスポーツの振興」としてほしい。大沢野地域には伝統文化が少ないが、地域の文化が豊かになるよう、祭りの練習や発表の場を残してもらいたい。
④少子化対策 <ul style="list-style-type: none">子育て環境の充実を図る。子どもの数に応じて、施設の統廃合を進め、機能が集約された場でサービスを提供する。複合施設に子育て支援機能の導入を検討する。	<ul style="list-style-type: none">どの課に相談したらよいかのわからない時があるので、適切な課を案内してくれる人がいると、子育て中の親御さんも安心できるのではないかと。
⑤利便性の確保 <ul style="list-style-type: none">駐車場の確保、バスや鉄道などの公共交通機関によるアクセスを確保する。	<ul style="list-style-type: none">バス本数の増加やコミュニティバスの運行をしてほしい。シルバータクシーはルールを改善し、認知度を上げて利用を増やせるとよい。
⑥安全性の確保 <ul style="list-style-type: none">集会施設や学校、空き家、そのほかの公共施設のうち、安全なものを避難場所として指定する。庁舎はより堅牢なものとし、災害時の指令発出や情報集約等を担う機能の確保を目指す。	<ul style="list-style-type: none">近隣に安全な避難場所があることは、最低限必要なことだ。避難場所は、建物の安全性だけでなく、防災倉庫や備蓄倉庫なども充実させてほしい。
⑦財源の確保 <ul style="list-style-type: none">利用ニーズが少なくなった施設の複合化、建替えの際の面積縮小を行う。	<ul style="list-style-type: none">人員が削減され職員だけでは管理が行き届かなくなるのであれば、地域が管理の一部を担うことも考えられる。